

大学コンソーシアムあきた平成21年度事業計画案 <概要>

理事会・運営委員会等の開催

構成機関負担金の収入・秋田県補助金交付申請

大学間連携の推進

- 1 単位互換協定の運営
- 2 大学コンソーシアムあきた聴講生
- 3 プロジェクト『4A』との事業協力
- 4 職員研修・講演会

地域貢献活動の推進

1 連携公開講座

テーマ1 秋田元気力講座～人が元気に、地域が元気に～

テーマ2 明るくしなやかシルバーライフ～人生後半をすこやかに～

2 高大連携授業の実施

<実施時期> 前期：5～7月実施、4月募集、週1回ペース / 5週

後期：9～11月実施、8月募集 //

<会場> カレッジプラザ、大館市、由利本荘市、横手市など

<運営> モバイルシステムによる広報・申込を併用

単位取得予約型授業の検討

3 社会人講座

<科目数> 20科目程度（実学系～教養系）

<受講料> 1コマあたりの受講料400円

4 サイエンスプラザ

大学の研究者と市民の方々が気軽な雰囲気楽しく語り合うスタイル

<テーマ数> 4テーマ程度

<受講料> 無料

5 中大連携授業

中等教育部門との連携による地域の教育活動を支援し、中学生に多様な教育機会を提供することを目的に科学技術系などの企画授業を展開する。

6 各大学主催公開講座の開講推奨

7 ホームページ、電子掲示板、モバイル版ホームページによる広報活動

全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムにおける発表

第6回函館大会において事例発表（組織運営分科会、社会貢献分科会）

平成 21 年度事業計画案・予算案作成における主な変更点等について

収入

日赤秋田看護大学の新規加入意向を基に、負担金収入純増30万円を見込む。

聴講料収入は秋田戦略学など 1 単位授業の開講に合わせたコマ数の見直しによるもの。 @400×15コマ×5人 @400×7コマ×5人

繰越額の目処を約30万円とし、年度初めにおける負担金収入等がない時期における事務消耗品などの運営に充てることとしていたが、モバイルシステムの構築に伴うホームページ制作費約27万円を平成 20 年度予算で執行したため、平成 21 年度への繰越額は4万4千円ほどとなった。

支出

事業体系は前年度とほぼ同じ。戦略的大学連携支援事業「プロジェクト 4 A」の事業展開に協力し、大学コンソーシアムあきた事業も積極的に展開する。

プロジェクト 4 A が教育・研究支援の事業展開方向であることから、大学コンソーシアムあきた事業は、大学間連携による県民向け地域貢献活動に、より傾注した方向で展開し、大学発の優れた教育サービスを提供するとともに県民の大学理解を深めてもらうことをねらいとする。

一方では、プロジェクト 4 A による単位取得予約型高大連携授業などと共に高大連携授業や中大連携授業など中等教育の支援への事業展開を図る。

単位互換授業及び高大連携授業に係る謝金の廃止。プロジェクト 4 A による「単位取得予約型授業・単位互換授業の謝金を受け取らないことへの合意」によるもの。なお、高大連携授業等においては秋田市以外の授業会場へ講師が移動した場合、JR 運賃を支出する。

高大連携謝金の廃止を主な財源としてより一層の中等教育への支援を掲げ、中大連携授業による企画講座を定期的を開催することなどにより、科学技術系分野に興味関心の高い生徒の継続的受講をねらい、理系分野への進学への動機付けを図る。

職員研修事業においては、大学教職員に限らず、学生や一般県民にも広く学びの機会を提供し、大学コンソーシアムあきたの発信性を高めるため、著名な県外大学教員等による講演会を企画実施する。

特に、平成 21 年度は大学コンソーシアムあきた設立から 5 年目の活動期を迎える節目であることから、県民の認知度が高い講師を招聘した特別企画講演会を開催して、大学コンソーシアムあきたの一層の情報発信を図る。